



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

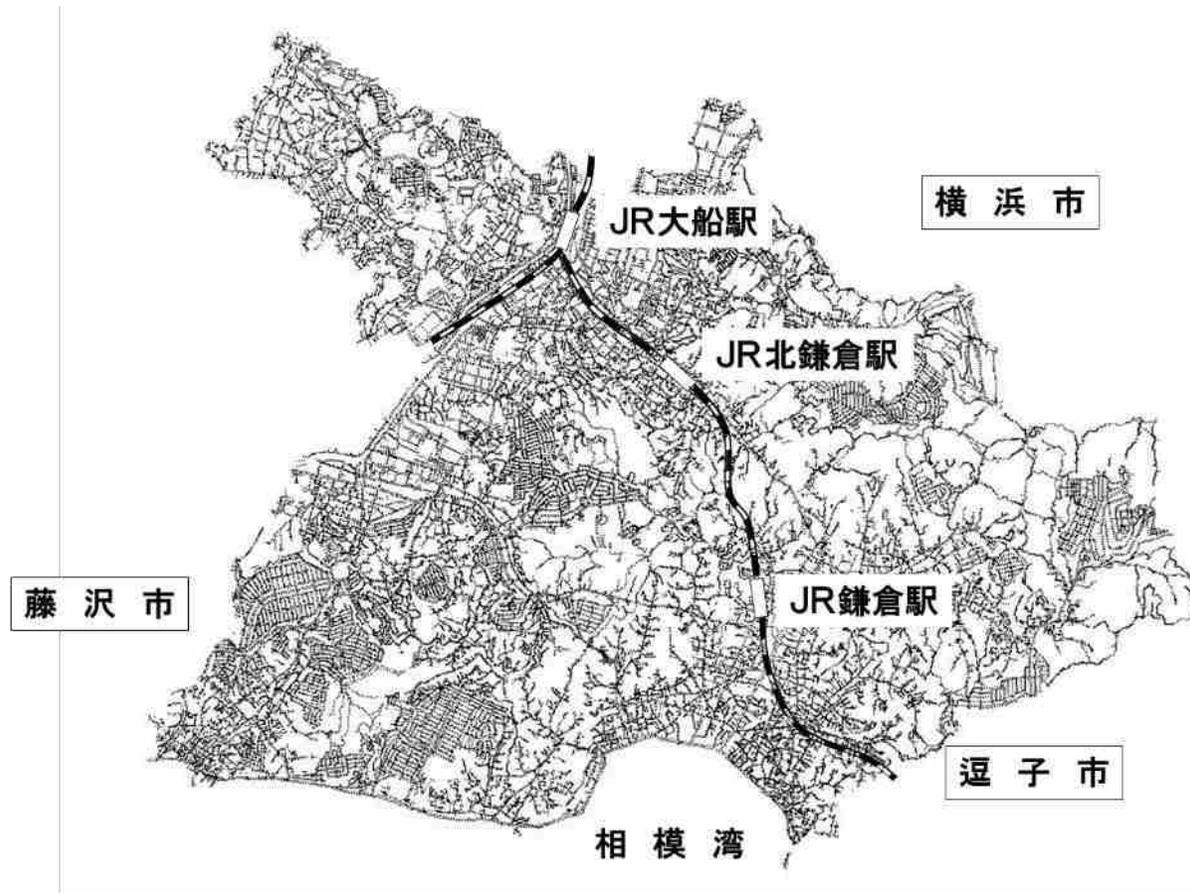
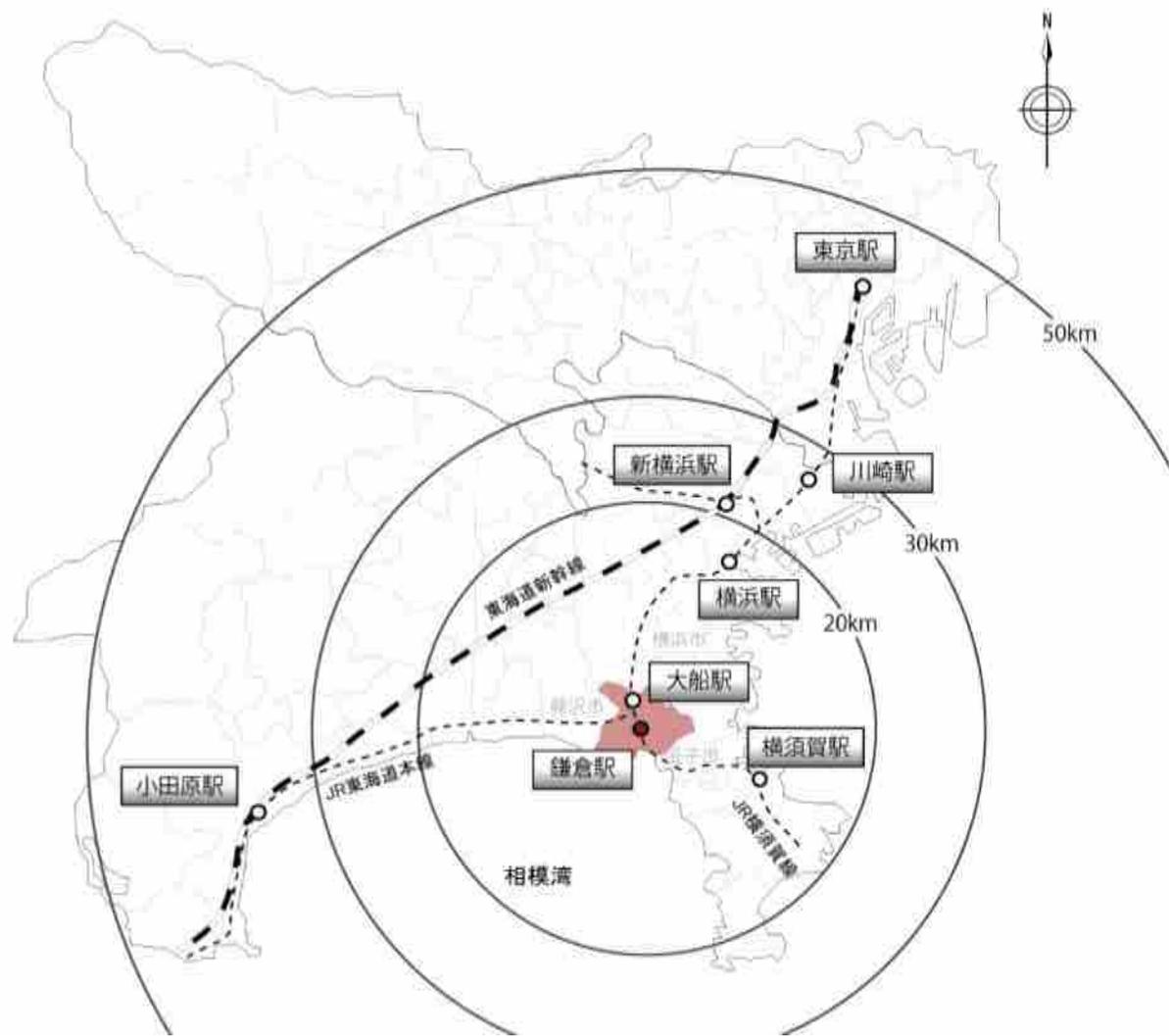
鎌倉市がSDGs未来都市に
選ばれました!

持続可能な都市経営「SDGs未来都市かまくら」の創造

『世界に誇れる持続可能なまち』を目指す古都鎌倉の新たな挑戦！

神奈川県鎌倉市

鎌倉市について【概要】

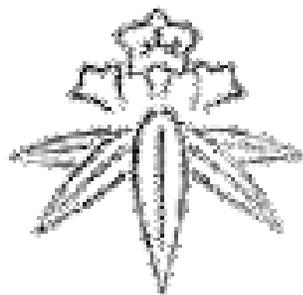


鎌倉市について【概要】

- 市制施行 昭和14年11月3日
- 面積 39.53m² **前年同時期との比較： -291人**
- 人口 171,977人(男性:81,217人・女性:91,065人)
- 世帯 73,646世帯 ※H30.3.1現在
前年同時期との比較： +464世帯



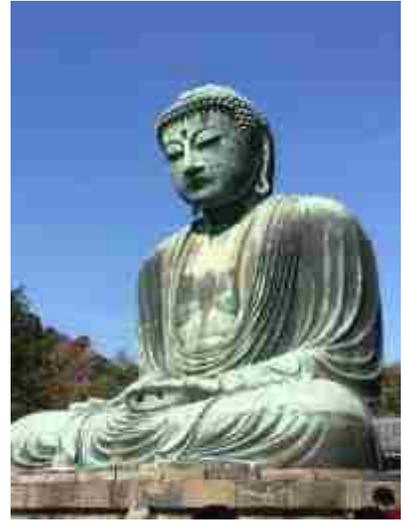
市の花：リンドウ



市章：ササリンドウ

藤原時代に貴族の衣服の文様として用いられ、村上源氏一門の家紋としても知られています。

鎌倉市について【特徴】



年間約2,000万人以上の観光客（入込観光客数）が訪れるまち



鎌倉市について【特徴】



鎌倉の市民運動が古都を守る「古都保存法」制定へと
古都保存発祥の地
日本初のナショナルトラスト



鎌倉市について【特徴】



市民のボランティアで山林を維持管理



鎌倉市について【特徴】



▲かまくら3R推進マスコットキャラクター

おかげさまで リサイクル率 5年連続全国1位!

環境省から、鎌倉市の平成20年度のリサイクル率が47.76%であり、人口10万人以上50万人未満の市町村では全国1位との発表がありました。

【問い合わせ】

資源循環課… ☎61-3396



植木剪定材受入事業場(関谷)

リサイクル率とは、ごみの「総排出量」に占める「総資源化量」の割合です。3R（発生抑制・再利用・再生利用）を進めることは、ごみの焼却量を減らすことになり環境にやさしいまちづくりにつながります。

五年連続でリサイクル率全国一位を達成できたことは、市民の皆さんが、3Rに高い意識を持って取り組んだ成果です。引き続き、ご協力をお願いします。

皆さんの取り組みの成果です

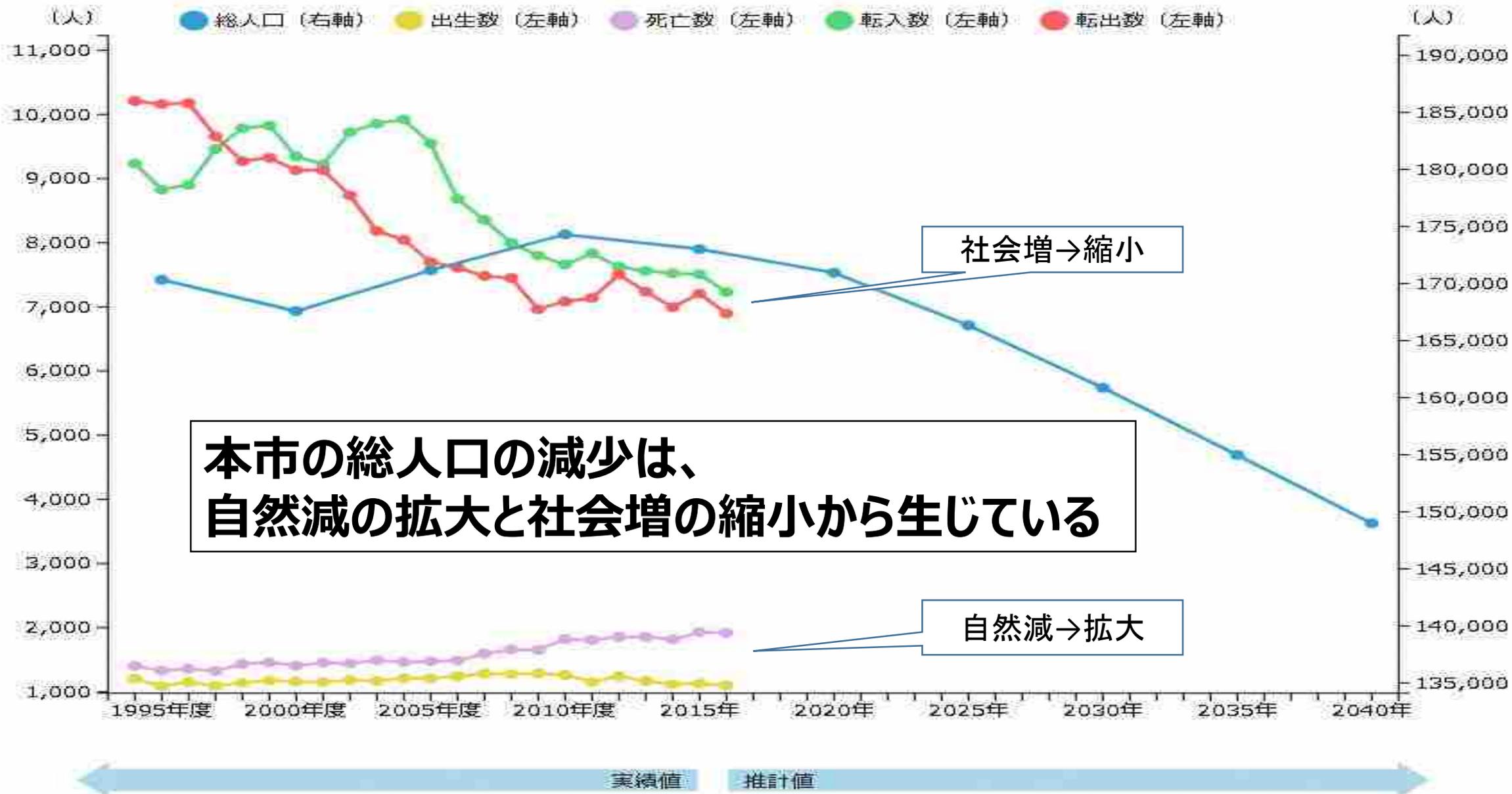
リサイクル率(%)の順位

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
1位	鎌倉市 45.6	鎌倉市 48.6	鎌倉市 50.0	鎌倉市 47.6	鎌倉市 47.76
2位	調布市 42.9	倉敷市 48.5	調布市 48.5	倉敷市 45.4	倉敷市 47.75
3位	横須賀市 38.9	調布市 43.6	小金井市 46.6	調布市 45.1	調布市 45.6

鎌倉市学校

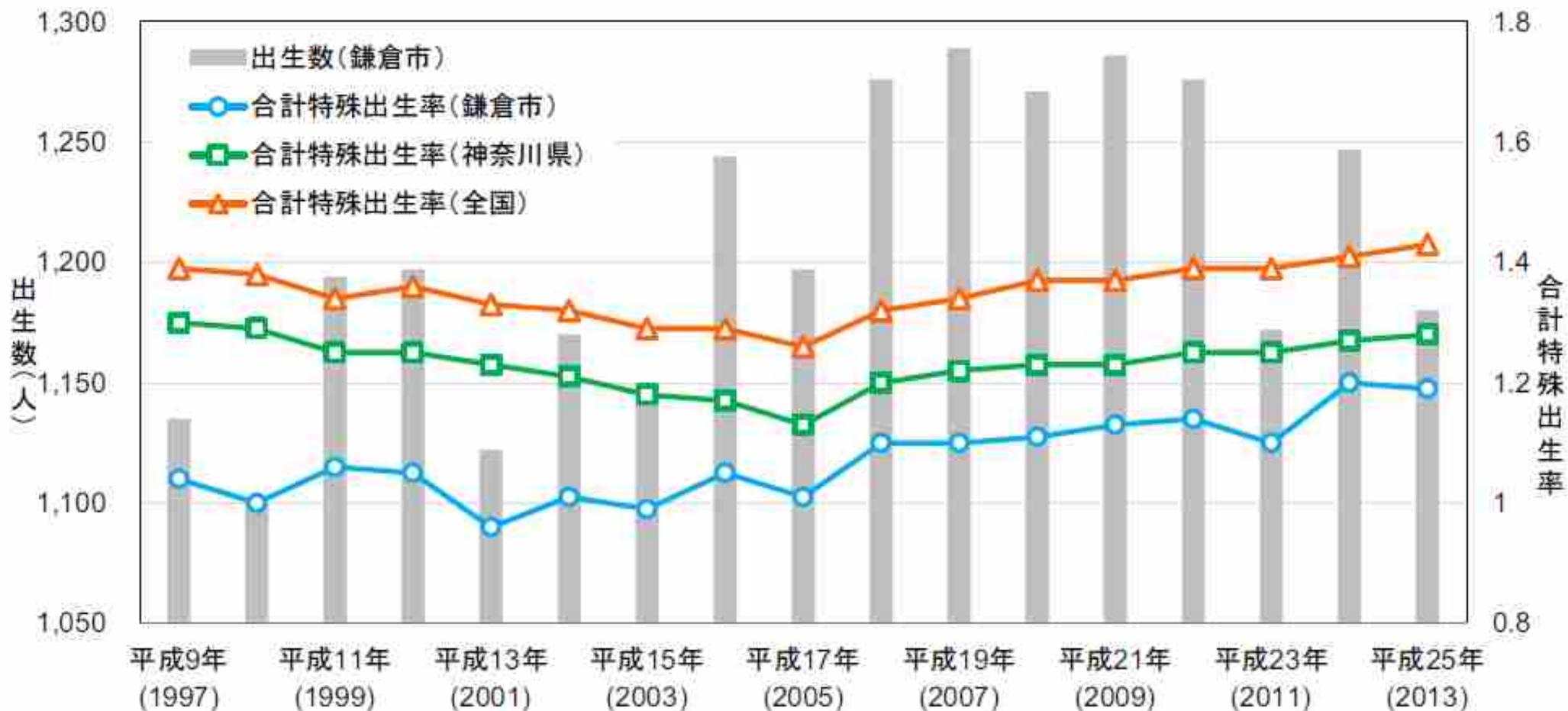


鎌倉市について【課題】

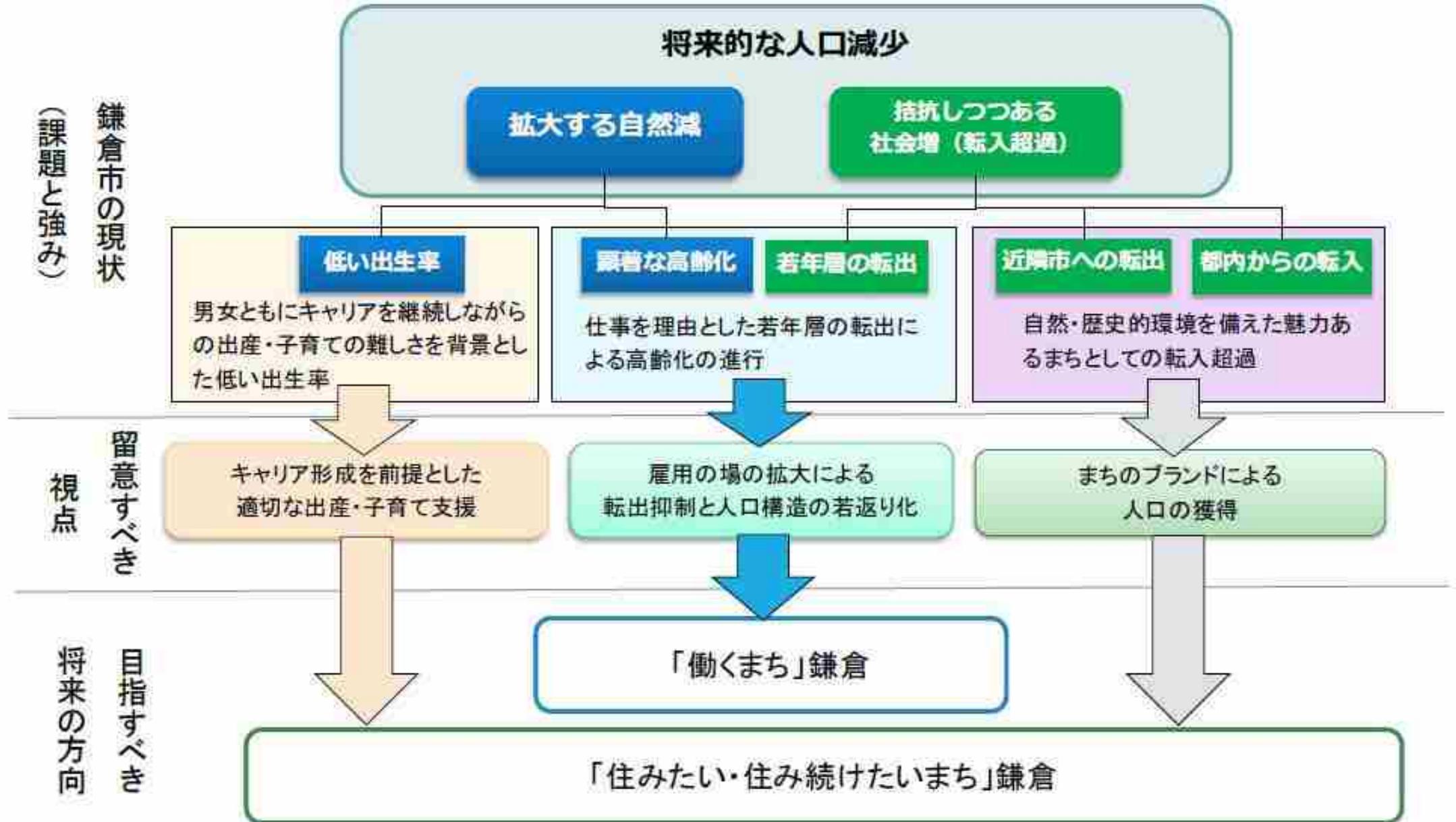


鎌倉市について【課題】

合計特殊出生率は低い水準で推移



鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）



「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」

「働くまち」をつくり若年層の流出に歯止めをかける 新たな産業振興施策としてテレワークを推奨



ナレッジとクリエイティブクラスの集約を図り、
鎌倉で働き、暮らし、遊び、心身共に充実した新しいライフスタイルを確立



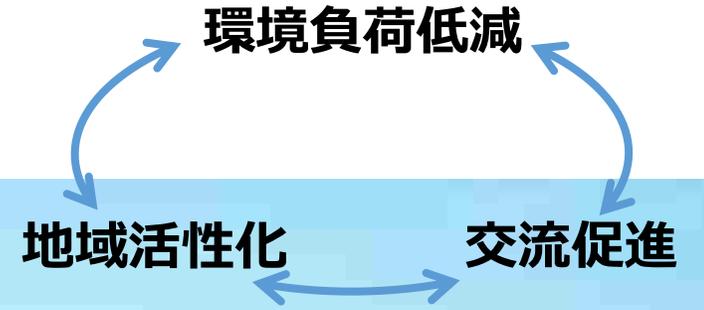
「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」

中世からの鎌倉の歴史や文化を大切にしつつ、今を生きる我々の生活をも快適に
特に慢性的な交通渋滞の解決に向けてロードプライシングの実施に向け検討中
環境・経済・社会の統合的取組の推進に挑戦！



「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」

市民生活を守り、来訪者にも快適に過せる環境づくりを
環境負荷を減らし、交流促進、地域活性化を目指す



「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」



日本初となる「Fab City宣言」を行い ものづくりによる地域活性化を目指す



フランスで行われた各国のファボラボ関係者が集まる国際的なミーティング「世界ファボラボ会議」において、日本初となる「Fab City宣言」を行う（7月12日）

「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」

鎌倉をクリエイターの集まるまちに、
そして、鎌倉の技術の世界に発信





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

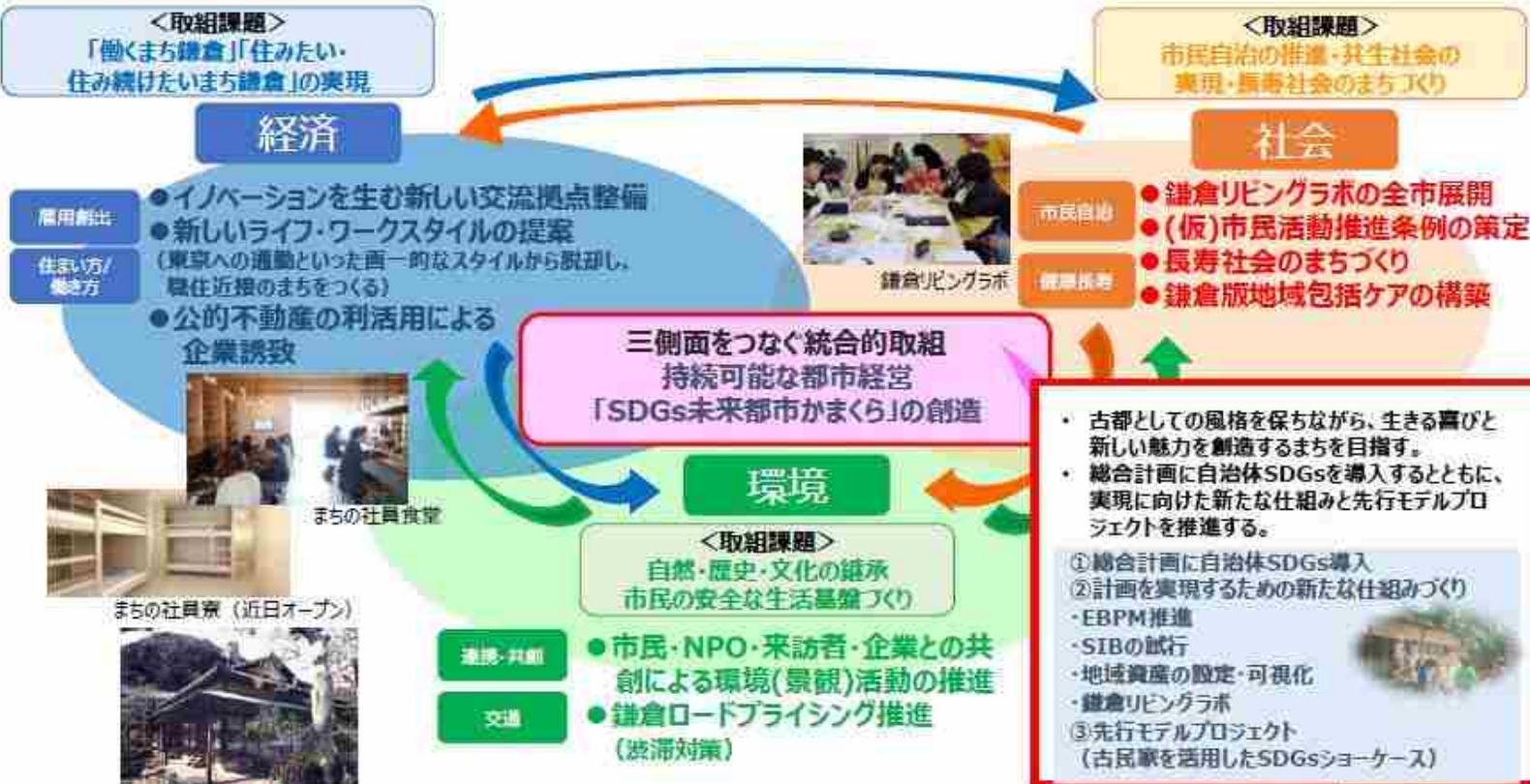
世界を変えるための17の目標

鎌倉市がSDGs未来都市に選ばれました!

これまでの蓄積を生かし SDGs未来都市としての鎌倉市の取組み

神奈川県鎌倉市 持続可能な都市経営「SDGs未来都市かまくら」の創造

市の総合計画について、SDGsの理念を掲げ、市民参画やEBPMにより改定する。実行に当たっては、計画の推進に寄与する取組リスト化や取組に対する特典還元により、実効性を担保する。また、先行モデルとして歴史的建造物を改修し、働く・交流・歴史と文化を継承する場として、情報発信する。





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

鎌倉市がSDGs未来都市に
選ばれました!

これまでの蓄積を生かし SDGs未来都市としての鎌倉市の取組み

① 総合計画の改定

市の最上位計画である総合計画（基本計画）に自治体SDGsの理念を掲げ、これまでの取組みを体系化。成果指標をSDGsのターゲットや指標と連動させることでSDGsへの達成度の明確化、様々なステークホルダーとの共創関係の構築を期待。

② 計画実行の仕組みづくり

目標（将来都市像）を共有し、実現を目指す様々なステークホルダーとの共創関係を構築。リビングラボを活用した民間との共創に向けた仕組みづくりや、企業等がSDGsに参加しやすい仕組みづくりを行う。

③ 古民家を活用したSDGsショーケース

古民家を活用し、環境・経済・社会の3側面をつなぐ統合的取組のモデルを構築。これを地域資本と位置づけPR、更なる地域資本の増加につなげるとともに、地域資本の利用促進により、地域における環境・社会・経済の三側面が好循環する仕組みづくりに取組む。

総合計画の改定

現行計画

全ての事業をSDGsの視点から再点検

人権を尊重し、
人との出会いを
大切にするまち

歴史を継承し、
文化を創造するまち

都市環境を
保全・創造するまち

健やかで心豊かに
暮らせるまち

安全で快適な
生活を送れるまち

活力ある
暮らしやすいまち



他の目標推進の障害要
因になる事業は見直し

他の目標とも関連が
強い事業は重点化

[事業構築]

- SDGsが目指す2030年を見据えた目標の設定
- バックキャストで事業構築
- SDGsに貢献（経済・社会・環境の好循環）する事業の重点化



[計画実行の仕組み]

- 指標の設定（EBPM）
- 投資を呼び込む仕組み
- 共創関係の構築





計画実行の仕組みづくり（共創関係の構築）



環境

（環境負荷軽減・イメージアップ）

行政

化粧品メーカー・江ノ電

市民・NPO・安野モヨコ氏

経済

（CSV・持続的発展）

社会

（ジブンゴト化・つながり）





計画実行の仕組みづくり（共創関係の構築）

生活の場をLabとするリビングラボの取組み

- 産官学民の共創
- 特にユーザーが共に創るパートナー
- 生活の場で継続的に実践



スウェーデン国王の視察を受けるなど国際的な連携体制（スウェーデンとの共同研究）が整う

これまで実践してきたノウハウを活かし、

高齢化の進む住宅地での取組みを全市展開

潜在ニーズの発掘・共創関係の構築・継続的な活動により社会課題の解決に取り組む

古民家を活用したSDGsショーケース（地域資本）



昭和初期建築の歴史的建造物である「村上邸」
立派な門構え・豊かな緑・伝統的な建造物は地域のランドマーク
茶室・能舞台を備えた大切な『環境資源』

これを「環境」「経済」「社会」の三側面をつなぐ

地域資本

と位置づけその効果を可視化する

古民家を活用したSDGsショーケース（地域資本）



保全のための
財源確保



環境



昭和初期建築の歴史的建造物
立派な門構え・豊かな緑・伝統的な建造物は地域のランドマーク
茶室・能舞台を備えた「旧村上邸」は鎌倉の保全すべき環境そのもの



歴史・文化の
大切さを知る



経済



シェアオフィスの運営など働く場としての機能
サテライトオフィスの誘致など新たな企業誘致のモデル
クリエイティブな人々の交流により新たな価値創造
新たなワークスタイルの提案

職住近接により
地域にコミット



社会

地域コミュニティの拠点
伝統芸能・文化活動の継承の場としての機能
子育て支援・世代間交流の場
エリアマネジメントの取組み



地域資本の好循環

まちの社員食堂

- 市役所、商工会議所他、企業等、約20団体が参画
- 地元商店（約30店舗）が週替わりでメニューを提供
- 鎌倉で働く人たちのための社員食堂



地域の好循環の
起爆剤

地域資本

地域のつながり・仕事のつながり

地域経済の活性化



地域資本を増やす

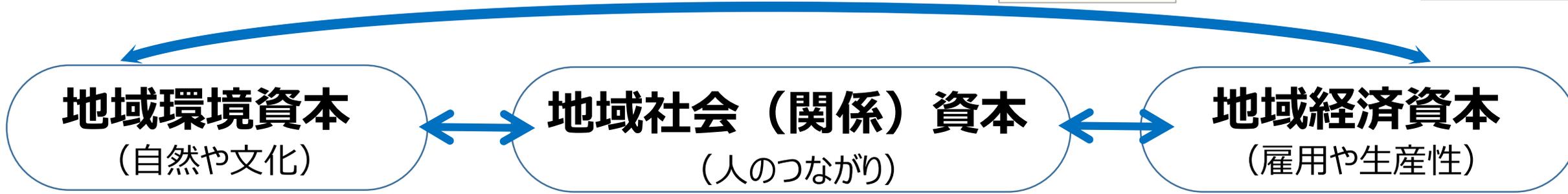
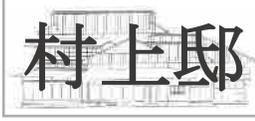
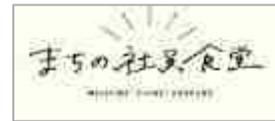
まちの保育園

まちの社員寮（近日オープン）





地域資本の好循環 (KPI)



市民が緑とふれあえるまちだと思ふ人の割合
56.5% (2017) → **70%** (2020)

リサイクル率
47.2% (2017) → **50.6%** (2020)



コミュニティ活動が盛んだと感じる人の割合
60.9% (2017) → **71.5%** (2020)

鎌倉に住み続けたいと思ふ人の割合
86.5% (2017) → **87.85%** (2020)



希望する職場で就労できていると感じる人の割合
 - → **50.0%** (2020)

市内事業所従業者数
68,949人 (2017) → **72,213人** (2020)

SDGs未来都市鎌倉の目指す姿



経済

低未利用の公的不動産の存在
高キャリアの市民（潜在的）の存在

新しい拠点整備（深沢地域整備事業）
公的不動産の利活用による企業誘致
新しいライフ・ワークスタイルの提案



『古都としての風格を保ちながら、
生きる喜びと新しい魅力を創造するまち』

『住みたい・住み続けたいまち』

豊富な自然（緑・海）・歴史的遺産・文化の存在
環境意識の高い市民（リサイクル率は常に上位）

環境



鎌倉ロードプラシング（渋滞対策）
市民・NPO・来訪者・企業との共創による環境活動



社会

ナショナルトラスト発祥の地
2,000万人超の観光客

リビングラボによるコミュニティ醸成
市民・NPO・企業との共創
市民活動推進条例

地域でつながる
仕事でつながる
ライフスタイルでつながる



将来に、そして次代を担う子どもたちに
ツケを残さない持続可能な都市経営を目指し

「SDGs未来都市かまくら」の推進に取り組めます

鎌倉市長 松尾 崇

